



こんなにも  
愛おしい  
— 零 —

**DOJIN**  
**R18**  
成人向け  
18歳未満の  
購入・閲覧禁止

**N×Cthermit**

ザ  
アアアアア

その日の雨は  
朝からの快晴が嘘のように  
突然降り始めた

まさか本当に降るなんてな……  
傘置いてくるんじゃないかって

仕方ない  
ここで休ませて  
もらうか

その古書店には  
雨宿りのために  
偶然立ち寄った

ガラガラ

初夏だというのに店の空気は冷たく  
そして外界の喧騒から切り離され  
耳が痛いほどの静けさに包まれていた

その中でささやくような  
本のページを捲る音が  
時折聞こえて来る

俺はその音に  
引き寄せられるように  
店の奥へと向かった

ガラ

ハルハルハルハル

ハルハルハルハル



そこに彼女はいた

色あせた  
古書に囲まれた彼女は  
薄闇に輝く一等星のようで

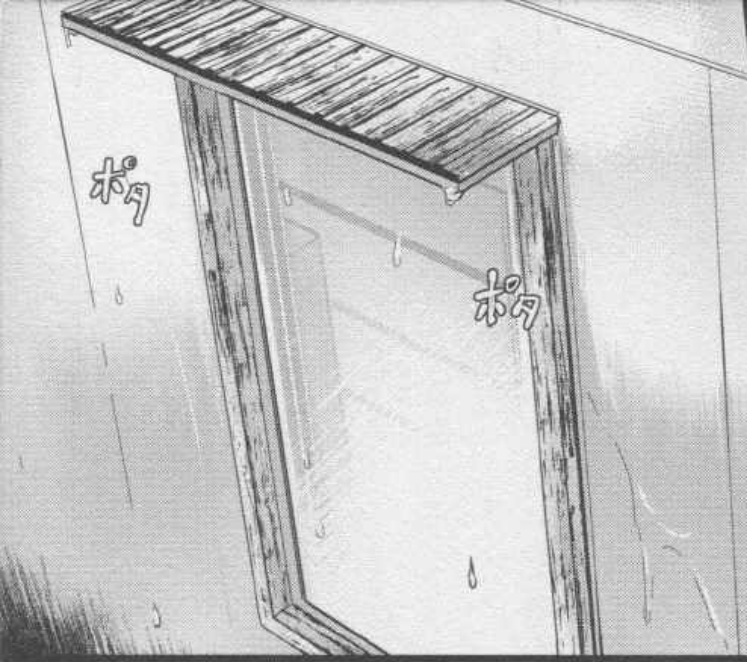
ただ美しかった



今思えば  
俺はその瞬間に

彼女に恋を  
したのだと思う

あ、



…どのような本をお探ですか？

いらっしやいませ

ハッ…

スカウトしよう  
と決めたんだ

そして俺は  
彼女を

彼女の名は  
鷺沢文香

そして彼女は  
アイドルとしての  
一歩を踏み出した

皆聞いてくれ  
今日から入った新人だ

鷺沢文香……と申します  
不束者ですが  
どうぞ宜しくお願い致します

初めは  
不安だったが

他のアイドルたちとも  
すぐに打ち解けたようだ

はいワンツー

もっとなま先まで伸ばして！

スリーフォー

ほら笑顔  
を忘れてる！

それから連日の  
厳しいレッス  
ンにも耐え

大丈夫か？  
オッカリ！

オッカリ！

オッカリ！

へんっ……

大丈夫……です  
これ程とは……

初めての  
ミニライブも  
成功させた



頑張っ  
会場ま  
すぐだ  
から!

ごめん  
次のオ  
ーディ  
ション  
まで時  
間がな  
いんだ

走れる  
か?

は、は  
い...

仕事を取  
るため  
に色  
んなオ  
ーディ  
ション  
会場へ  
駆け回  
り

他にも  
CDの  
対面販  
売をし  
たり



たっ



慌ただ  
しく  
過ぎて  
いった



どよ  
っん

また  
落ちま  
した...

次が  
あるこ

彼女と  
出会っ  
てから  
の数ヶ  
月は



はい新しいコラムのモデルとしても最適で

必ず効果が出ます!

やはり……視線を感じる

彼女はふとした瞬間に俺のことを目で追っていた



そんな折ほんの僅かな彼女の变化に気付いた

そこでこの子ですか



そうでなければ不器用な彼女が奥手な彼女が

はい……!

そんな笑顔を見せる理由があるだろうか



これは……そうだ

今回も良い条件で仕事が取れたよ

売り込みにもなるし今回も頑張ってたな

間違いない……間違えようがない



ちゅっ

まだ若い君の  
一時の気の迷いなんだ



……

君はアイドルで  
俺はその  
担当プロデューサーだ



はっ



君のそれは――

その感情は――

一緒に  
いかがですか？

本物の恋じゃない



そう、違う  
違うんだ

そうだ  
プロデューサーさん

この近くに  
新しくブツクカフェが  
出来たそうなのですが

たっ





乾杯!



プチライブの  
成功を祝して

それじゃあ



某市ビジネスホテル



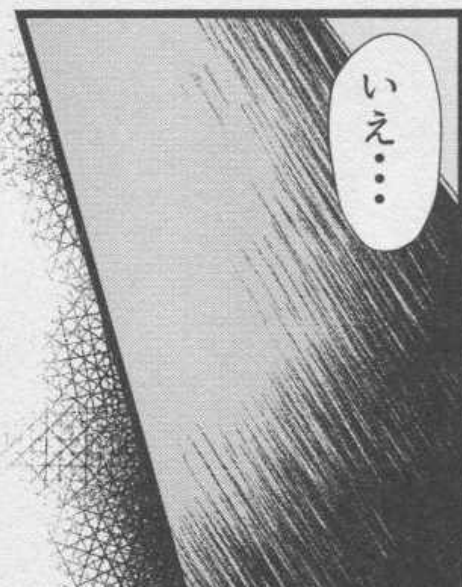
私にとっては……  
これでも  
十分すぎるくらいです

まただ……



もつと予算あったら  
良いレストランでも  
予約できたんだけど……

ごめんな  
こんな味気ない  
打ち上げで



いえ……



俺だって

気持ちを  
抑えられなくなる



そんな顔をされたら

君に  
そんな顔をされたら...



待って...

じゃ、じゃあ俺  
自分の部屋に戻るわ

手が...  
震えてる?

今日は  
もう少しだけ

プロデューサーさんと  
...一緒にいたいです

!?

ぎゅっ



何を  
やっ  
てる  
んだ  
俺は

ドクン  
ドクン

ドクン

ドクン

ドクン  
ドクン  
ドクン

わか  
つて  
いる  
のに

抑  
え  
き  
れ  
な  
い

んっ……

相手  
は  
ア  
イ  
ド  
ル  
だ  
ぞ

んっ  
んっ  
んっ

はっ

んむっ

ふっ……

んんっ

んんっ

んんっ

んっ?

震  
え  
て  
る……  
け  
れ  
ど  
抵  
抗  
し  
な  
い

んんっ  
んんっ  
んんっ



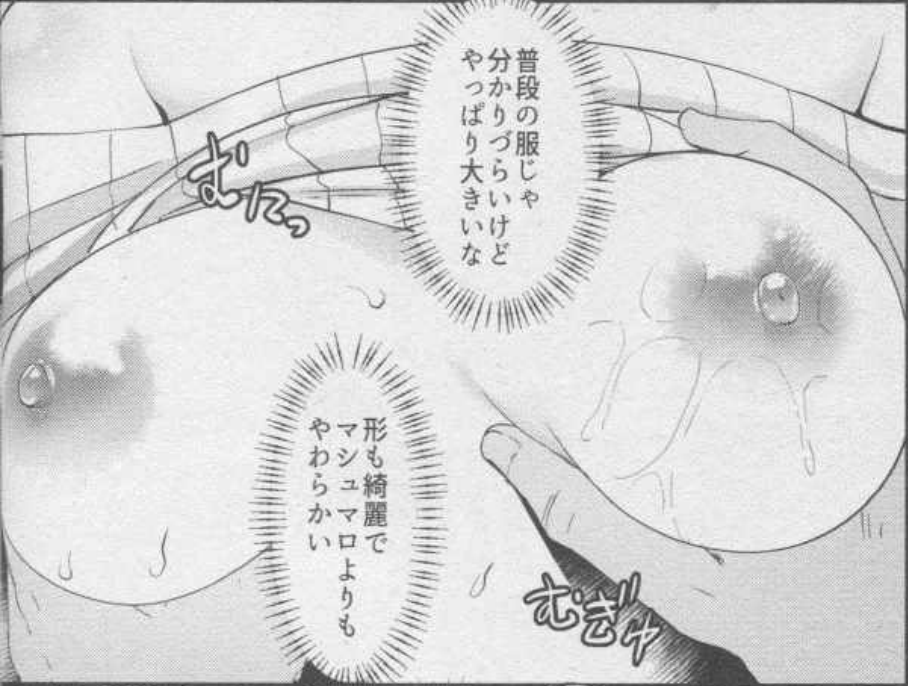


我慢出来るわけ  
ないだろ……!!

ひやあつ!!

ヒヤッ

ムクッ

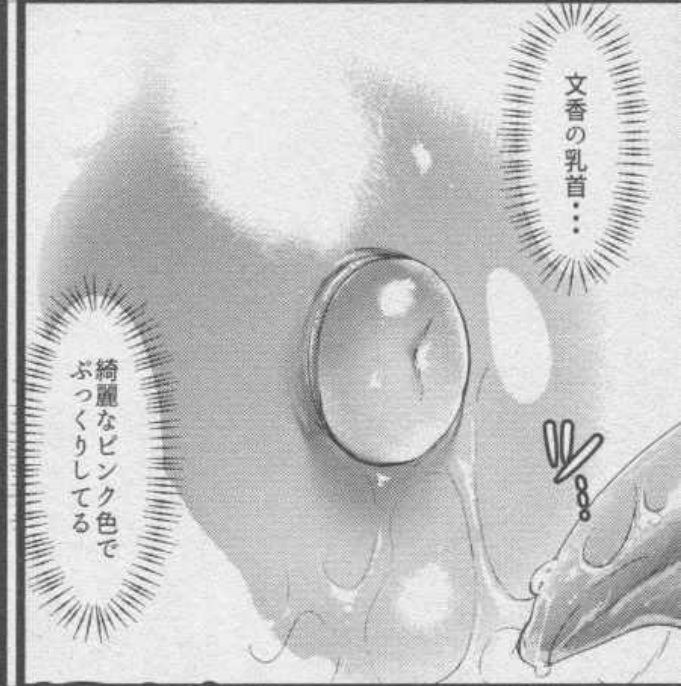


普段の服じゃ  
分かりづらいけど  
やっぱり大きいな

形も綺麗で  
マシユマロよりも  
やわらかい

おはっ

むぎゅ



文香の乳首……

綺麗なピンク色で  
ぶっくりしてる

おはっ



それからお腹周り……

思ったよりも  
筋肉があるな……

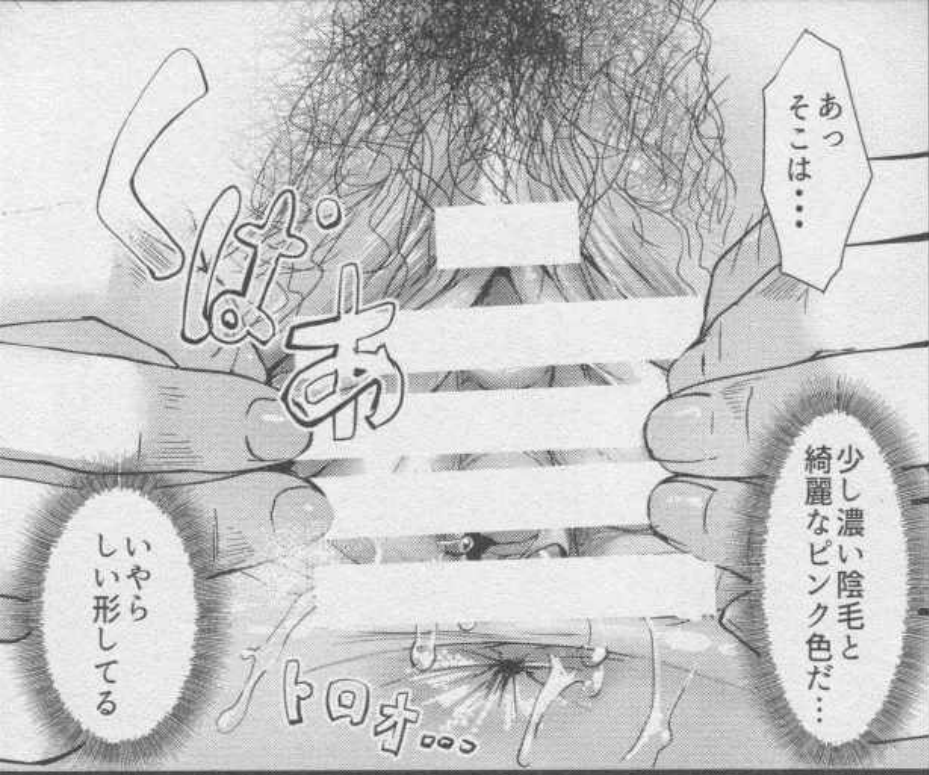
そうかトレーニングで……  
文香も頑張ったんだな

おはっ

はあ

はあ

んっ……



あつ  
そこは...

少し濃い陰毛と  
綺麗なピンク色だ...

いやら  
しい形してる



デブユーサー...? <sup>ズキ</sup>



はあ  
ダメです汗  
かいてて...

汚あつ...

あつ

文香に汚い  
所なんてないよ



あつだめ...  
ひっぱつちゃ













大丈夫  
ですから...



わかった

ちやく

んっ...



プロデューサーと...  
繋がれたと思うと...

嬉しくて...



動くよ

ギミ

はい...



文香あつ!

おおお!

おははは

はあはあ

おははは

プロデューサー...

おはは

お



もつと...深く...

す  
す  
す

はあ  
はあ  
ぎゅ

スニ  
スニ  
スニ

スニ  
スニ  
スニ

くつ...  
締まる!!

ああ!!

グニ  
グニ  
グニ

はあ  
お! パチ  
パチ  
パチ  
ハチ  
ハチ  
ハチ





そんなに抱きつかれたら

文香……!!  
俺もう……!!



直接肌が擦れて……  
気持ち良い……!!  
あぁ

ああ……  
いいですねー!!



ああ……  
ああ……

私も……っ  
何かっきて……  
んん



文香...っ!!  
出る!!

プロデューサー  
...さんっ!!

文香ッ!!

おあおあ



やってしまった...

To Be Continued



## あとがき

皆様はじめまして、そしてお久しぶりです。nohitoです。  
この度はこの本を手にとって頂き  
またここまでお付き合い頂きまして誠にありがとうございます。

今回はPと文香の出会いと、19歳の少女の恋心に対するPの葛藤をメインにお話を描きました。  
担当アイドルが好きで好きでたまらないのに手を出すわけには行かないというジレンマは  
私を含めアイマスシリーズに接してきたほぼ全ての方が抱いているものだと思います。

多分。  
そしてプロデューサーの数だけ世界があるのがアイマスだと思っていますので  
Pと身体を重ねない文香もいれば、もっと淫乱な文香もいていいと考えているのですが  
このシリーズの文香は弱小プロダクションのプロデューサーに一目惚れでスカウトされ  
プロデューサーに初恋をした気持ちを伝えるのが下手な一人の女の子として設定しています。  
同時にプロデューサーも貧乏プロダクションのサラリーマンで文香と比べて特別大人という  
わけでもない平凡な青年として描きました。そんな二人がアイドルとプロデューサーだなんて  
特殊な環境で恋をしたら様々な葛藤が生まれるはずだ…それが今回のお話の出発点です。

そんな葛藤を振りきれないまま関係を持ってしまった二人のお話はこの後「こんなにも愛おしい」  
「こんなにも愛おしい2」へと続いていきますが、もう少しの間だけ0～1に至るまでのお話を  
描いていきたいと思えます。  
独りよがりな妄想シリーズですが最後までお付き合い頂けると嬉しいです。  
それでは、またお会いするその時まで。

nohito

## 奥付

■誌名■

こんなにも愛おしい零(ゼロ)

■発行■

N×Cてるみっと

■著者■

nohito

■発行日■

2016年8月14日

■印刷■

マツモトコミックサービス様

■Twitter■

@nohito\_nohito

■連絡先■

<http://from1.fc2.com/from/?id=755403>

Printed by

**mcs**

MATSUMOTO COMIC SERVICE

こんにちは

愛おしい

—零—



2016 SUMMER  
N×Cthermit